

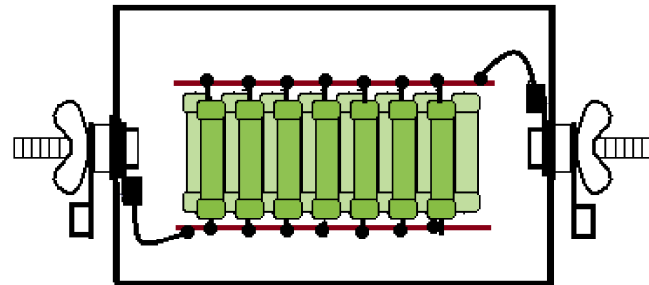
500ΩR-Vr3 合成抵抗の作り方

7.5KΩ(5W)の酸化金属抵抗を15本(並列)接続して500Ω合成抵抗にします
 7.5KΩ(5W)の抵抗を抵抗足受板に取付半田付けします、抵抗足受板に、
 8本と7本の抵抗を2段構成で配列します
 ブラケースに収めてリード線を半田付けします、端子等を接着剤などで固めて、
 ふたをして完成です

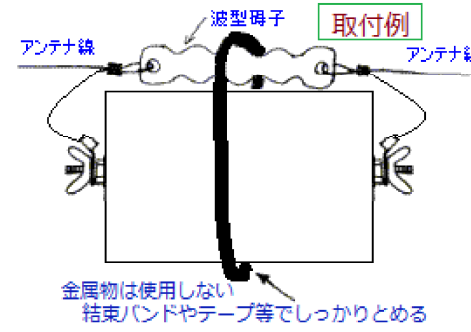
部品表	
7.5KΩ 5W --- 15本	酸化金属被膜抵抗
抵抗足受板 --- 2枚	スズ引き線---15cm
ステンレス ちょうナット、ボルト、ナット、ワッシャー	ほか 端子 --- 2組
ブラケース	100×65×35mm --- 1個
波型碍子 --- 1個	結束バンド --- 1

500ΩR-Vr3 合成抵抗 構成図

ケースサイズ：100×65×35mm



回路図

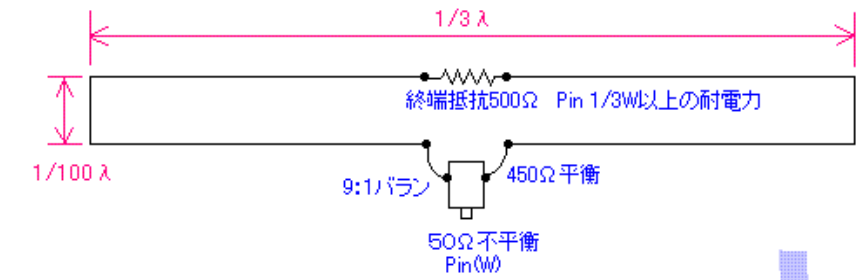


Tilted Terminated Folded Dipole

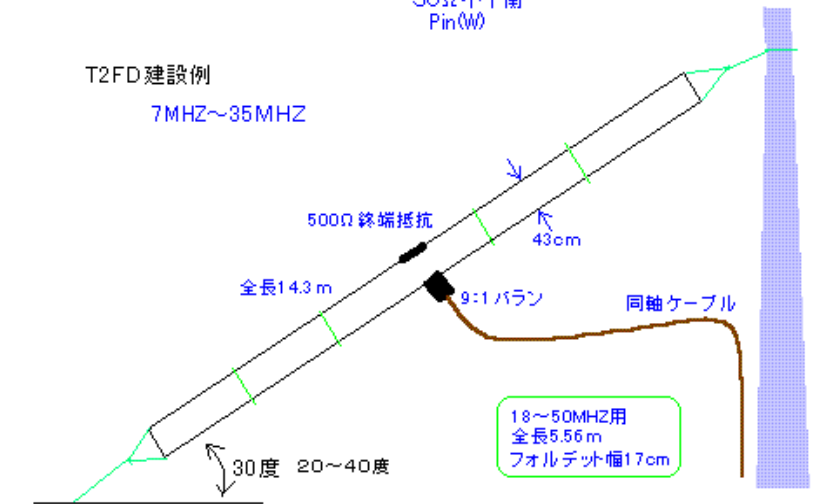
終端抵抗型、傾斜式、フォールドドダイポール

T2FDアンテナ資料

T2FDの特長 *無調整で広帯域 SWR2.0以下で1:5
 *アンテナの傾斜角度は、30度(20~40°)で無指向性

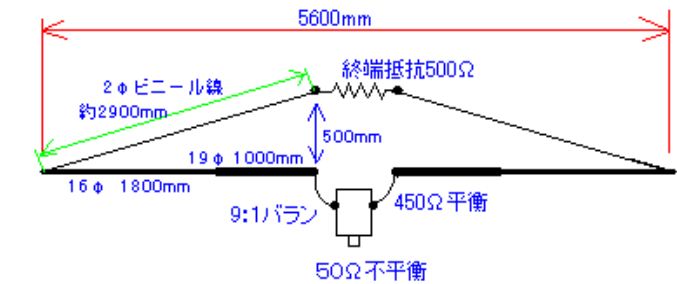


T2FD建設例
7MHz~35MHz



(例) 変形T2FDの構成

CQ Ham Radio誌1993年6月号にJH2TQH氏が発表した 変形T2FDの構成



参考文献

- *CQ出版社 ダイナミックハムシリーズ16 「ワイヤーアンテナ」
- *CQ ham radio誌 1991年9月号 JA1FGW吉田武氏「T2FDのすべて」
- *CQ ham radio誌 1993年6月号 JH2TQH太田氏「変形T2FDアンテナ」

1、抵抗足受板2枚を8足受側と7足受側を揃えます

2、抵抗のリード足を受板の内側まで折り曲げます

3、8足受側に8本の抵抗を取付けます

4、7足受側も7本の抵抗を取付けます 合計15本です

5、抵抗足受板の各反対側に端子配線用リード線を配線し、抵抗足受板の抵抗と半田付けします

6、ケースに収めて両端子に半田付けします